

社会資本総合整備計画(中間評価書)

(津駅北部地区都市再生整備計画)

平成29年3月

三重県 津市

社会資本総合整備計画 中間評価書

平成29年3月17日

計画の名称	1 津駅北部地区都市再生整備計画											
計画の期間	平成26年度～平成30年度（5年間）				交付対象	三重県津市						
計画の目標	<p>大目標：風格のある県都津市にふさわしい、安全・安心かつ良好な都市空間の形成</p> <p>小目標1：駅周辺として、利便性の高い良好な都市空間の形成を推進する。</p> <p>小目標2：基盤整備を進め、防災面や交通安全面に優れたまちづくりを推進する。</p>											
計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> ・区域内の人身事故件数を13件（H24）から10件（H30）に減少 ・津駅北部地区土地区画整理事業地区内における「公共空間の割合」を19%（H24）から25%（H30）に増加 ・地域住民の意向調査による「まちづくりに対する満足度」を32%（H24）から65%（H30）に増加 											
定量的指標の定義及び算定式				定量的指標の現況値及び目標値			備考					
				当初現況値 (H26当初)	中間目標値 (H28末)	最終目標値 (H30末)						
	都市再生整備計画区域内の人身事故件数を調査する。			13件	13件	10件						
	津駅北部地区土地区画整理事業の事業区域内の公共空間面積割合を算定する。			19%	25%	25%						
	地域住民を対象とした意向調査を行い、「まちなみの美しさ」に対する地域住民の満足度を調査する。			32%	—	65%						
全体事業費	合計 (A+B+C)	4,773.1 百万円	A	4,773.1 (内提案事業 5.0百万円)	B	0 百万円	C	0 百万円	D	0 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.0%

中間評価

○中間評価の実施体制、実施時期	
中間評価の実施体制	中間評価の実施時期
	平成29年3月
交付対象市町において目標の達成状況やその要因を確認・とりまとめを行い事後評価を実施	公表の方法
	各市町のホームページにより公表

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業

A 基幹事業											全体事業費 (百万円)	備考					
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名			事業実施期間(年度)				
											H26	H27	H28	H29	H30		
1-A-1	都市再生	一般	津市	直接	津市	市町村道	—	津駅北部地区都市再生整備計画事業	A=30.4ha 道路 土地区画整理事業(H26～H27) 高質空間形成施設等	津市						2,884.1	
1-A-2	都再区画	一般	津市	直接	津市	—	—	津駅北部地区都市再生区画整理事業	A=11.6ha	津市						1,889.0	
合計																4,773.1	
B 関連社会資本整備事業											全体事業費 (百万円)	備考					
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)							
											H26	H27	H28	H29	H30		
合計																0	
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考					
C 効果促進事業											全体事業費 (百万円)	備考					
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)							
											H26	H27	H28	H29	H30		
合計																0	
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考					
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業											全体事業費 (百万円)	備考					
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)							
											H26	H27	H28	H29	H30		
合計																0	
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考					

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> ・人身事故件数は、区域内道路の計画的かつ円滑な整備効果により、目標を達成している。 ・公共空間面積割合は、都市再生整備計画事業を始めとする各種事業効果により、目標達成に向けて順調に推移しつつある。 			
II 定量的指標の達成状況	指標①（都市再生整備計画区域内の人身事故件数）	中間目標値	13 件	目標値と実績値に差が出た要因	都市計画道路等の計画的かつ円滑な整備効果により、城内交通及び通過交通の円滑化を図ることができたため、平成27年度一年間の人身事故件数は8件となり、事業完了前に中間目標値及び最終目標値を超えている。
		中間実績値	8 件		
	指標②（津駅北部地区土地区画整理事業の事業区域内の公共空間面積割合）	中間目標値	25 %	目標値と実績値に差が出た要因	
		中間実績値	24.75 %		
	指標③（「まちなみの美しさ」に対する地域住民の満足度）	中間目標値	— %	目標値と実績値に差が出た要因	
		中間実績値	— %		
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)		<ul style="list-style-type: none"> ・土地区画整理事業区域内の基盤整備により、医療施設や商業施設が立地し、駅前の賑わい創出が進みつつある。 			
3. 特記事項（今後の方針等）					
<p>事業継続中の箇所については、より一層の事業効果が発現できるよう、計画的な道路整備を推進し、県都の玄関口にふさわしい、駅周辺の安全・安心かつ利便性の高い良好な都市空間を形成するとともに、防災面や交通安全面に優れたまちづくりを図ります。</p>					

(参考図面) 市街地整備

